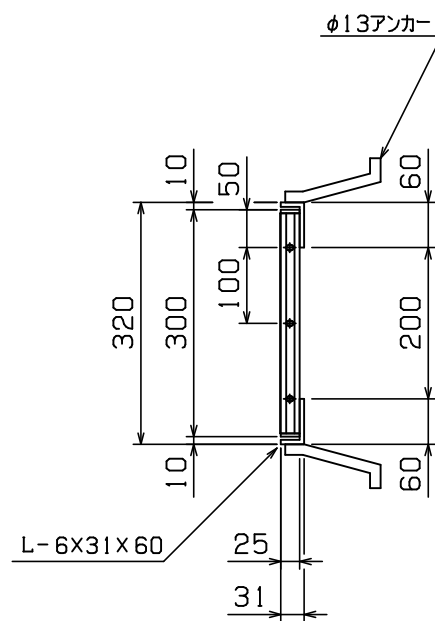
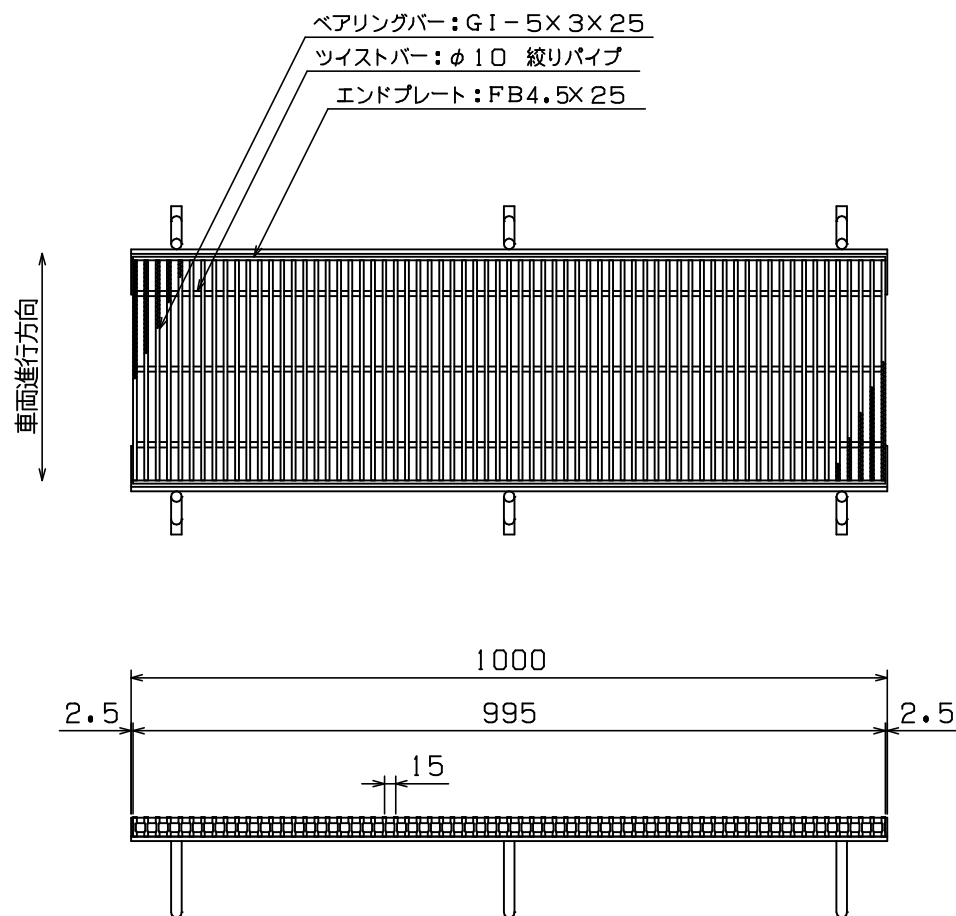


◇ 荷 重 計 算 ◇

設計条件

荷重基準: 鋼道路橋等設計示方による
 荷 重: T-2 (後輪一輪荷重: 800Kg)
 載荷寸法: 160mm×200mm (等分布負載)
 許容応力: $\sigma_b = 18.0 \text{ Kg/mm}^2$ (SS400使用)
 衝撃係数: $i = 0.4$
 スパン: $L = 200 \text{ mm}$

W : 主部材が支える最大後輪一輪荷重(Kg)
 N : 荷重を受ける主部材本数
 (Z) : 主部材断面係数
 S : 溝幅方向載荷寸法

荷 重 計 算

「横断溝」(溝幅 $\leq$ 載荷寸法 S の場合)

$$W = \frac{8\sigma_b Z}{L} \times \frac{S}{L} = \frac{8 \times 18 \times 200 \times Z}{200^2} = 0.720 \times Z$$

$$Z = N(Z) = 11 \times 0.485 \times 10^3 = 5.34 \times 10^3$$

$$\therefore W = 0.720 \times 5.34 \times 10^3 = 3.84 \times 10^3 \text{ (Kg)}$$

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 3.84 \times 10^3 \\ &= 9.6 > 2 \end{aligned}$$

衝撃係数考慮の場合

$$\begin{aligned} T &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times \frac{1}{1+i} \times W \\ &= 0.4^{-1} \times 10^{-3} \times 0.714 \times 3.84 \times 10^3 \\ &= 6.9 > 2 \end{aligned}$$

以上より T-2 となる

＜表面処理＞

本体重量: 17.0Kg
 受枠重量: 8.9Kg

本体: 溶融亜鉛メッキ
 受枠: 黒ペイント塗装

担 当	製 図	検 図	尺 度	作 図	工事名
	岡 本	戸 田	1/10	年 月 日	
タイヘイグレーチング					図面番号 GTBPH25-2 T-2 横
石田鉄工株式会社					図面名称 GTBPH 300X995X25
					Lアングル (P=15)